

伐木チャンピオンシップに出場



2年に1回鳥取県で開催される「日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取」が、10月28日・29日に大山横原駐車場で開催されました。

にちなん中国山地林業アカデミーからも1チーム（2名）が選手として参加し、見事15チーム中8位の好成績でした。授業後や休日にも自主的に練習を重ねた結果、悔しい部分もあったと思いますが、健闘しました（参加者の中では最年長でした！）。他の学生も競技の審判や大会運営のスタッフとして、2日間朝早くから大会を裏方で支えてくれました。また卒業生も選手として多数大会に参加していました。県内だけでなく近隣で働く卒業生も大集合し、さながら同窓会のような場面もありました。また、日南町からも若手林業従事者の参加や、日南町森林組合・日南町の地元産品の販売もあり、多くの人に日南町をPRで

【林業アカデミーHPアドレス】 <https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

問 にちなん中国山地林業アカデミー TEL 8410070



きたと思います。さて、林業アカデミーの実習も終盤に入り、いよいよインターンシップが近づいてきました。本年もインターン生で日南町内に就職を希望する学生があり、全員が長く続けられる自分に合った林業事業体に就職できるように全力を尽くします。来年度の林業アカデミーの学生募集もはじまりましたが、まだまだ学生募集中です！

獣害対策 アップデート

第29回 冬は要注意 疥癬の動物

日野郡鳥獣被害対策協議会
川野 風花
【問合せ】 72-1399



ヒゼンダニ

▲疥癬になったタヌキ

昼間に散歩をしていたら、毛が抜けてなんだかへ口へ口になつていいる野生動物を見かけたことはありませんか？これは、「疥癬」という皮膚病になつていいる動物です。この地域では「ハゲ」とも言われていますね。疥癬は、「ヒゼンダニ」というダニが皮膚に寄生することで発症する皮膚病で、かゆみと皮膚の硬化、脱毛などの症状があります。

ります。野生動物では、シカやイノシシ、タヌキ、アナグマ、キツネなど、多くの動物に感染します。疥癬は人間も発症する皮膚病ですが、動物と人間では寄生するダニの種類が異なるため、動物の疥癬が人間にうつることはないうです。ただ、動物のヒゼンダニが一時的に人間の皮膚に張り付いて、アレルギー反応を引き起こすこともあります。困ったことに、疥癬で毛が抜けた動物は体温調節ができないため、寒さをしのぐと倉庫などに居ついたり、ペットのエサや生ごみなどに依存したりする傾向があります。疥癬の動物がペットのエサを食べてしまうことにより、ペットに疥癬がうつってしまうこともあるそうです。一段と気温が下がってくるこの季節、疥癬で衰弱したタヌキやイノシシがエサや住処を求めてふらふらと姿を見ることがあるかもしれません。疥癬になつていいる動物に限らず、野生動物に近づかない・触れないのはもちろんのこと、「エサとなるものは外に放置しない」「動物が潜める場所をなくす」といった、野生動物を寄せない対策が大切です。

